学校番号	３０２６

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	数学Ｃ（数研出版）						
副教材等	サクシードⅢ＋Ｃ（解答付き）（数研出版） サクシードⅢ＋Ｃ完成ノート（数研出版） スタディサプリ（デジタル教材）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自立した学習の力を身に付けることを大切にして授業を進めていきます。そのため、受験勉強に真摯に取り組んでいきましょう。数学Ｃは今まで学習した数学ＩＡⅡＢを包括した内容です。また、それに加えて深く学んでいきます。そのため数学ＩＡⅡＢの内容をしっかり学習できていなければ、数学Ｃの内容は難しく感じてしまいます。そのため、授業の中では今までの復習が出来ているかを適宜確認し、その上で数学Ｃの内容を学習していきます。数学Ｃを学習する皆さんにお願いしたいことは①ＩＡⅡＢの復習を丁寧に、かつ十分に行うこと②難しいと感じたら無理に進まず振り返って、自分が分かるところまで戻ることです。丁寧に学習を進めることで、数学を根本的に理解することができるようになります。このような学習は他教科や自分の生活を振り返るとき必ず役立ちます。粘り強く頑張っていきましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、論理的思考力、数学的技能・能力・思考力を身に付けることを目指す。
数学に対する広い視野を持つ。ベクトル、平面上の曲線、複素数平面についての概念や原理、法則を体系的に理解する。教科書に書かれている数学が、数学のすべてではなく、数学とは無限に広がる学問であり身の回りに活用されているものだと深く理解する。
受験勉強も含め、自己の目標を実現するために学習計画を立て自らの意思で学習することができる。また、学習に対して自立した態度を身に付けることにより卒業後も意欲的に学習できる素養を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学的な表現の工夫について認識を深めている。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察することができる。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察することができる。数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	空間のベクトル	空間の座標 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル ベクトルと図形 座標空間における図形	a: ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学的な表現の工夫について認識を深めている。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 b: 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察することができる。図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察することができる。数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 c: 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	小テスト 期末試験	レポート 課題 期末試験	小テスト 宿題 レポート 課題
	複素数平面	複素数平面 複素数の極形式と乗法、除法 ド・モアブルの定理 複素数と図形		小テスト 期末試験	レポート 課題 期末試験	小テスト 宿題 レポート 課題
2学期	式と曲線	放物線 楕円 双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線 曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式 コンピュータといろいろな曲線		小テスト 期末試験	レポート 課題 期末試験	小テスト 宿題 レポート 課題
	数学的な表現の工夫	データの表現方法の工夫 行列による表現 離散グラフによる表現 離散グラフと行列の関連		小テスト 期末試験	レポート 課題 期末試験	小テスト 宿題 レポート 課題
3学期	演習	発展的な問題を活用した復習と演習	a: 数学的な表現の工夫について認識を深めている。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 b: 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 c: 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	小テスト	レポート 課題	小テスト 宿題 レポート 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度